

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査書

平成27年3月作成

指針1：家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進

1 絵本の充実と整備

<p>施策・方針</p>	<p>ア 絵本購入費の確保に努め、子どもの年齢やそれぞれの発達に応じた絵本を充実し、子どもたちが魅力ある本を手にとって見ることができている環境の整備を行います。</p> <p>イ 子どもと本の出会いをより充実させるために、保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問や移動図書館の活用を推進します。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園での絵本の購入実績は、0冊～5冊が5施設、6冊～10冊が3施設、11冊以上が9施設で、前年度より購入冊数を増加しました。 ・今年度も企業からの寄附として保育所〔園〕15施設には30冊程度の寄附があり、各保育所〔園〕に一定の絵本の環境整備ができました。 ・図書館訪問を行った保育所〔園〕・幼稚園は6施設、移動図書館の利用は6施設、図書館訪問と移動図書館のどちらも利用したのは2施設、どちらの利用もなかった保育所〔園〕・幼稚園は6施設でした。図書館や移動図書館を利用していない施設は、自園の絵本が多数あり、絵本の貸し出しを行うなど各園の特色を生かした読書推進に取り組みました。 ・団体貸出の利用や、職員個人による絵本の借り入れを積極的に行っています。
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立保育所・幼稚園の図書購入費として、それぞれ図書10冊分の購入財源を確保します。 ・各保育室の絵本コーナーの環境整備を行い、子どもと絵本との出会いを充実していきます。 ・遠足の機会を利用しての図書館訪問や、移動図書館の活用を促進するとともに、利用が困難な保育所〔園〕・幼稚園では、団体貸出を利用することで、子どもたちが絵本に触れる機会を積極的に作って行きます。

2 読書活動推進のための取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 保育士・幼稚園教諭対象に、子どもの年齢・成長に適した選書や読み聞かせの効果的な方法等を学ぶ研修の機会をもちます。</p> <p>イ 保護者と子どもが本を介してコミュニケーションを深めるために、ブックスタート事業を継続させるとともに、保護者向けの読書活動に関する講座を開催するなど、家庭、保育所〔園〕・幼稚園への積極的支援を行います。</p> <p>ウ 市立図書館と連携し、読み聞かせ等のボランティアの活用を図るとともに、各保育所〔園〕・幼稚園でのボランティアの受入を進めます。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けの講座を実施した保育所〔園〕・幼稚園は7施設、保護者向けに講座を実施した保育所〔園〕・幼稚園は4施設ありました。 ・園だよりで絵本の紹介を実施した保育所〔園〕・幼稚園は11施設ありました。 ・ボランティアによる読み聞かせを実施した保育所〔園〕・幼稚園は6施設で、前年度より4施設増えました。 ・乳児・幼児主任会では、絵本に関する情報交換をそれぞれ年5回実施しました。 ・今年度、絵本に関する内容の職員向け研修への参加は11施設で延べ101名の参加がありました。 ・かがやき・マイ保育ステーションでは、在宅家庭に絵本の読み聞かせを定期的に行いました。 ・今年度のブックスタート事業は、1月末時点での対象児529名のうち336名に絵本を配付し、受け取り率は63.5%となっています。
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりやクラス懇談会を利用して絵本紹介を行い、親子読書の推進に努めます。 ・ボランティアを必要としている園に、ボランティアを紹介できるように図書館等と連携します。 ・年5回開催する乳児・幼児主任会を利用し、絵本に関する情報交換を継続して実施します。 ・保育士・教諭向けの絵本に関する研修を年1回は企画し、専門性の向上に努めます。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成27年3月作成

指針2：小・中学校における読書活動の推進

1 学校図書館の資料の充実

<p>施策・方針</p>	<p>ア 国の平成24年（2012年）度からの「学校図書館図書整備5か年計画」に基づき、「学校図書館図書標準」達成率100%の学校の割合を、まずは、三重県平均レベルの小学校39.7%、中学校24.4%とすることを旨とし、「更新冊数」も含めた資料の充実のため、図書購入費等の財源を確保していくよう努めます。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校図書館活性化事業」を行い、資料を充実させ、学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として機能させる等、図書館教育についての先進的な取組への支援を行っています。（モデル校4校） ・図書館教育担当者会において、市立図書館の団体貸出しの利用を呼びかけました。 ・平成26年5月現在（統合後）、学校図書館図書標準の達成率ごとの学校数は、小学校は25～50%未満が2校、50～75%未満が10校、75～100%未満が2校、100%達成が0校でした。中学校は25～50%未満が2校、50～75%未満が3校、75～100%未満が0校、100%達成が0校で、達成率は伸び悩んでいます。
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末に学校図書館図書標準達成率100%の学校の割合が目標値に達するために、図書購入予算の確保に向けて重点的に取り組みます。 ・分類ごとの蔵書比率に鑑み、適切な購入を進めます。 ・「学校図書館活性化事業」で、これまでの先進事例について広く周知を図るとともに、資料を充実させて魅力ある学校図書館となるようさらに環境整備を進め、授業等で活用できるように支援を充実します。 ・市立図書館と連携し、団体貸出しの利用を進めます。

2 人的体制の整備

<p>施策・方針</p>	<p>ア 学校図書館支援員を引き続き配置し、各学校の図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行います。</p> <p>イ 子どもと本のつなぎ手となる学校図書館の専任職員としての「学校司書」の配置にむけての検討を積極的に行います。</p> <p>ウ 「名張市教育センター」の機能を活用し、各学校の司書教諭等と連携しながら学校図書館の充実に向けた支援の体制づくりを進めます。</p> <p>エ 司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを目指し、研修の充実に努めます。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県の事業を受け業務委託により司書1名をモデル校2校に配置し、学校図書館運営支援員3名が17校の小中学校を巡回して、すべての学校において図書館整備と子どもの読書活動推進の支援を行いました。 ・6月に保育士・教職員と各校の学校図書館ボランティアを対象に教育センターで図書館ボランティア研修講座を実施しました。また、11月に名張市市民活動支援センター主催の「人づくりまちづくりは子どもの読書から That's 絵本 いい本との出会いのために」研修講座を名張市立図書館と教育センター共催で実施しました。 ・三重県教育委員会主催の「学校図書館活用フォーラム」や「高校生ビブリオバトル」の参加（観戦）、また、県の事業を受けたモデル校での読書活動推進のための研修会への参加を呼びかけ、司書教諭等や学校図書館ボランティアのスキルアップを図りました。 ・司書教諭等と学校図書館運営支援員とが連携して取り組んできた、図書館資料の管理や図書館の環境整備・運営や、児童生徒や教職員に対する情報サービスや読書推進活動、教科や特別活動等教育指導の支援等について、図書館教育担当者会において情報交換を行いました。（3回）
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改正学校図書館法が、平成27年4月から施行されることから、「学校図書館運営支援員」を、「学校司書」と呼称を変え、職員のスキルアップを図ります。 ・「学校司書」が、学校図書館活性化事業モデル校4校を中心に各学校を巡回し、効率よく学校図書館活性化に向けた取組（子どもの読書量と図書館利用の増加、図書館を活用した授業の活発化等）を行います。 ・学校図書館ボランティアの増員を図ります。 ・司書教諭等や「学校司書」、学校図書館ボランティアのスキルアップのために研修会を年間1回は実施します。 ・学校図書館ボランティアの情報交換の場を年3回設けます。また、学校図書館ボランティアの手引きを配布し、活動の充実に努めます。

3 読書活動推進のための学校の取組

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校図書館のコンピュータ管理への支援、小・中学校図書館のネットワークの構築、新刊図書配置の支援、司書教諭等への支援等、学校図書館の活性化に努めます。</p> <p>イ 読書活動推進のため、保護者への啓発を学校にはたらきかけるとともに、PTAとも連携を取り、子どもの読書活動推進の大切さについて、「懇談会」「講演会」「親子読書会」など様々な機会が発信します。</p> <p>ウ <small>ウチドク</small> 家読の推進が図られるよう支援します。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料のデータベース化完了に伴い、バーコードによる貸し出しがすべての学校においてできるようになりました。(実用化できている学校数:小学校13校、中学校4校)その結果、貸出密度や分類ごとの蔵書比率を必要に応じていつでも把握し、学校図書館運営に生かすことができるようになりました。貸出密度が高い学校の取組を図書館教育担当者会で交流しました。 ・PTAと連携し、学校図書館の環境整備や図書の実、研修会の開催等、児童生徒の読書活動を支援しました。(小学校7校) ・「うちどくのススメ」を記載したたよりを全校児童生徒を通じて家庭へ配布し、家読の推進を図りました。毎学期「とよだより」を全校児童生徒に配布し、読書活動の推進に努めました。(小学校14校、中学校5校)
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進に資するため、各校が魅力ある「とよだより」を発行できるよう、教育センターと連携し、資料情報の収集に努めます。 ・教育センターとして、名張市PTA連合会にも後援を依頼し保護者の研修会参加への支援を求める等、読書活動推進のための研修会、講座等を年間1回は実施します。

第二次名張市子ども読書活動推進計画施策進捗状況調査

平成27年3月作成

指針3：市立図書館における子どもの読書活動の推進

1 市立図書館の児童書の充実

施策・方針	<p>ア 市立図書館の全蔵書冊数に占める児童書の割合の目標値を25%程度とします。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園や学校図書館への団体貸出用児童書の収集に努めます。</p> <p>ウ 内容が古くなったり傷みが激しくなったりした児童書を廃棄して蔵書の更新に努めます。</p> <p>エ 長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。</p> <p>オ 身体の不自由な子どもたちのための点字図書や録音図書などの充実や、外国人の子どものための外国語の図書の充実に努めます。</p> <p>カ 以上のことを実現するための予算の確保に努めます。</p>
-------	---

平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書冊数に占める児童書の割合 22.3%(児童書:13.0% 絵本:8.6% 紙芝居:0.6% 児童参考書:0.1%) ・受入冊数に占める児童書の割合 19.6%(児童書:13.0% 絵本:6.4% 紙芝居:0.0% 児童参考書:0.2%) ・平成26年度資料購入費(日本図書館協会公共図書館調査票の区分) 資料費:7,239,401円(内、図書費:6,479,084円 雑誌新聞費:739,311円 視聴覚資料費:21,006円)
----------------	---

平成27年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> ・受入冊数に占める児童書の割合の目標値を20%程度とします。 ・長く読み継がれて傷んできている児童書の買い替えに努めます。 ・上記の取組が可能な予算(平成26年度図書費予算額)を確保します。
------------------	---

2 人的体制の整備

施策・方針	<p>ア 児童サービスに関する専門的な知識を修得した児童サービス担当司書の確保により児童サービスに関する知識や技術の蓄積に努めます。</p> <p>イ 職員やボランティアの児童サービスの技術力の向上につながる研修等を年2回以上実施するよう努めます。</p> <p>ウ 市立図書館のボランティアや学校図書館ボランティアの他、子どもの読書活動にかかわるボランティアグループの組織化やコーディネートを行う受入体制を整備し、市立図書館内外で活動できるように支援に努めます。</p>
-------	--

平成26年度 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・名張市市民活動支援センター・名張市教育センターと連携し、「人づくりまちづくりは子どもの読書から」をテーマにして、増田喜昭さんの講演会を実施しました。 ・絵本作家・広瀬克也さんの講演会、ワークショップを読書活動グループと共催しました。(2月28日開催) ・おはなし会ボランティアを松本隆さんの講演会(伊勢市)に引率・同行したほか、近隣で開催される講演会等に関する情報提供を行いました。 ・平成27年6月更新の図書館業務委託仕様書に、児童サービスを担当する司書の選任を明記し、それに伴う予算措置を講じました。
----------------	--

平成27年度 重点取組事業	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の実施する子ども読書活動推進にかかわる研修会の情報収集に努め、積極的に参加するとともに、おはなし会ボランティアへの情報提供に努め参加を促します。 ・市立図書館が主催して、子ども読書活動推進にかかわる研修会を2回開催します。 ・児童サービス担当司書の確保について、平成27年6月から始まる次期の図書館業務委託の中で、その実現に努めます。
------------------	--

3 地域における子どもの読書活動推進のための取り組み

<p>施策・方針</p>	<p>ア 子どもを対象にしたサービスの内容や催しのあり方を再検討して、更なる子どもの読書活動の積極的・計画的な推進に努めます。</p> <p>イ 保育所〔園〕・幼稚園への移動図書館巡回の拡大や、団体貸出利用の推進に努めます。</p> <p>ウ 県立高校図書館・高等専門学校図書館と連携して、ヤングアダルトサービスを展開するとともに、その計画的な推進に努めます。</p> <p>エ 子育てを支援する様々な施設で親子がくつろいで読書を楽しめる環境づくりのため、関係部署との協議を進めます。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けに図書を紹介する児童特集展示を行いました。(22テーマ、延べ展示冊数:3,433冊、延べ貸出冊数:3,729冊) ・おはなし会等を実施しました。(延べ56回、664人参加) ・子ども読書の日関連行事として拡大版おはなし会を開催しました。(4月19日開催:30人参加) ・図書館まつりを開催し、おはなし会や絵本を題材にした影絵劇を上演しました。(8月2日開催:60人参加) ・保育所〔園〕の児童の図書館訪問を受け入れました。(延べ21回) ・第7回なばり本の帯コンクールを共催しました。(応募点数:661点) ・教育フォーラム会場及び図書館ロビーで本の帯コンクールの入賞作品を展示しました。 ・ブックスタート(事業の説明、読み聞かせ)を実施しました。(247人参加) ・保育所〔園〕・幼稚園等への団体貸出冊数:932冊
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所〔園〕・幼稚園の図書館訪問を積極的に受け入れ、その機会を利用するなどして団体貸出の利用を勧めます。 ・おはなし会等の子ども向けの催しを実施します。 ・子ども向けの催しへの会場提供を積極的に行います。

4 市立図書館による学校図書館支援

<p>施策・方針</p>	<p>ア 小・中学校の司書教諭等や県立高校学校司書との連携を強化し、学校図書館支援のあり方を検討のうえ、具体的な実施計画を策定します。</p> <p>イ 子どもの施設見学・職場体験を積極的に受け入れ、図書館への興味を深めさせることにより、子どもの読書活動の推進に努めます。</p> <p>ウ 図書館業務受託事業者による小・中学校への学校図書館支援を継続します。</p> <p>エ 県立図書館のサービスを活用した学校図書館支援について検討します。</p> <p>オ M I L A I に参加している県立高校図書館との相互協力に努め、また、M I L A I に参加していない高等専門学校図書館との相互協力についても検討し、蔵書の効果的な活用等の連携方法の研究を進めます。</p>
<p>平成26年度 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学(小学校7校)、職場体験(中学校3校)、高校(1校)を受け入れました。 ・小中学校への学校図書館支援を実施するにあたっては、年度初めに各学校に事前調査を行い、年間計画を策定しました。 ・小中学校の学校図書館を訪問し、ブックトークや読み聞かせ等を行いました。(訪問回数:延べ34回) ・小中学校等への団体貸出冊数:3,517冊 ・県立高校への団体貸出冊数:285冊
<p>平成27年度 重点取組事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの施設見学、職場体験を受け入れます。 ・学校図書館支援を実施するにあたっては、小中学校との連携を密にし進めます。 ・図書館教育担当者や小中学校への学校図書館支援の機会をとらえ、団体貸出の利用促進に努めます。

平成27年3月作成

【委員からの意見】

1 指針1:家庭、保育所〔園〕・幼稚園における読書活動の推進について

・絵本の情報交換が新たに幼児主任会で5回されたという実績のように、取組による成果・課題がわかるよう、ブックスタート受取率等についても今後も数字を把握していく。
・必要とする保育所〔園〕・幼稚園へボランティアを紹介できるように、市立図書館との連携を具体的に進める必要がある。

2 指針2:小・中学校における読書活動の推進について

・学校図書館に人がいるということが、さまざまな成果を生むという学校からの報告がある。(1)貸出冊数の増加(2)環境整備による利用増加(3)選書についての適切なアドバイス(4)学力の向上につながる授業支援(5)子どもたちの居場所、心のケア 今後もこの5点を念頭に置き、人がいる図書館をめざして取組を進めていかなければならない。
・図書購入費をいかにして確保するか、寄附を募るなど具体的な取組の必要がある。

3 指針3:市立図書館における子どもの読書活動の推進について

・保育所・園以外にも図書館を訪問し、教育的な効果があった。適応指導教室に通う子どもたちにとっても個別から集団への扉を開くよい場所となっている。

【高倉アドバイザーより】

・図書館教育担当者会での5点の意見は的を射ている。人がいることで図書館は大きく変わる。子どもに寄り添い、これらのことができるスキルをもった人(学校司書)の配置がこれまで以上に進むよう、成果を数字で示す必要がある。特に貸出密度については公表すべきである。
・三重県の学校図書館図書標準達成率は全国的に見て低く、名張はその三重県の平均にも及ばない状況である。せめて三重県の平均に届くようさらに努力してもらいたい。
・図書館だよりはおもしろく、よい取組である。しかし本来は、学校の行事や子どもたちの日々の様子と密着した、速報性があり親近感もてる図書館だよりを学校が作成することが望ましい。
・学校図書館では、分類ごとの蔵書比率にある程度沿ってれば、子どもたちの読みたい本を読むことができるように、リクエストを導入し選書に反映するとよい。
・市立図書館は努力している。参考までに、他市では手作り絵本コンテストをして好評であった。子どもたちが楽しめる取組をしていくことが望ましい。